

平成 27 年度の重点取組

◎平成 27 年度重点取組事項

- ①人材育成プログラムの構築
- ②地域課題解決を通じた人材育成
- ③インターンシップの拡大
- ④人材の県内定着に向けた学生支援の検討

専門部会を設けて検討

インターンシップ拡充 学生支援のための専門部会

・平成27年6月15日設置  
 ・平成28年1月まで5回開催  
 ・構成

[経済界]	経済4団体の事務局長
[大学・短期大学]	就職部・キャリアセンター 学生部(課)・教務部(課)等 <small>(国学者等学生支援部会)</small>
[長野県]	県民文化部 私学・高等教育課長 産業労働部 労働雇用課長

検討内容

1 インターンシップの拡大

大学・短大で学ぶことが実社会でどのように役立つのかを知り、学生がキャリアデザインに基づき意欲を持って学修することができるよう、インターンシップ拡大のための取組を検討

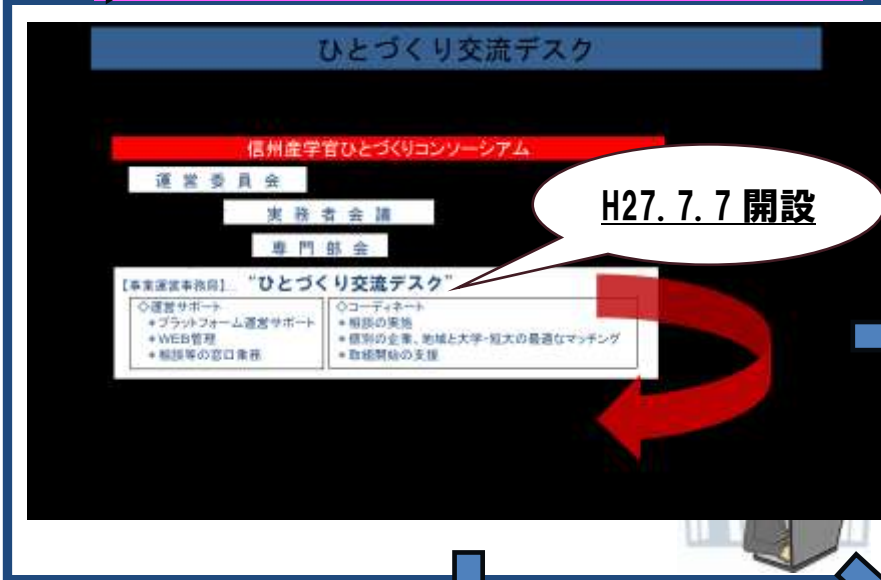
- 平成 28 年からマッチングを実施
- > 2月～3月 企業に対するインターンシップ受入意向調査
  - > 5月～6月 参加学生募集
  - > 6月 マッチング
  - > 8月～9月 インターンシップ実施

2 人材の県内定着に向けた学生支援の検討

人材の県内定着に向けた産学官協働による学生支援の方策を検討

- 「大学生海外インターンシップ支援事業」を平成 28 年度から実施
- <目的>  
 産業界と県との協働により、グローバル人材の育成と県内定着を図る。
- <事業内容>
- > 県内大学・短大の学生が海外事業所で行うインターンシップ等に係る経費を補助
  - > 1人あたり 20 万円を補助(渡航費・宿泊費等)
  - > 産業界等から寄附金を募集

ひとづくり交流デスクで取り組み



ひとづくり交流デスクでコーディネート①  
 中小企業中核人材育成プログラムの構築

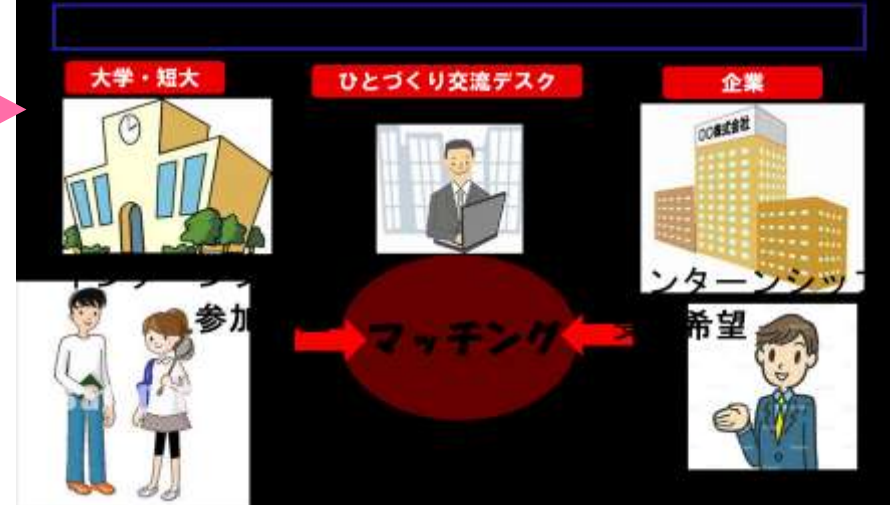


【どのように?】

- ・県内大学が専門部会を設け、プログラムを編成  
 《諏訪東京理科大学・長野大学・松本大学・信州大学》
- ・プログラムづくりには、産業界の意見を反映
- ・平成 27 年度は、県内中小企業に対するアンケート調査を実施し、プログラムのニーズを把握

ニーズに対応して  
 >平成 28 年度にプログラムを検討へ

ひとづくり交流デスクでコーディネート②  
 インターンシップの拡大



インターンシップ参加者数(H26)  
 《H26》595名 [参加率:約 20%]  
 (医師、看護師、教員等の資格養成課程の学生を除く。)

目標 インターンシップ参加者を  
 5年間で倍増へ

ひとづくり交流デスクでコーディネート③  
 地域課題解決のコーディネート

